災害派遣だより【４月２４日】

（聞き手：八戸航空基地　広報室）

感謝の気持ちが励みになります！

■機動施設隊　１等海尉　相馬秀輔（八戸市出身）

Ｑ１　今日の天気は？

午前中は雨でしたが、午後はくもりでした。

Ｑ２　作業を進める上で、困ったことはありますか？

雨衣（合羽）を着ての作業となりましたが、涼しく作業がしやすかったです。

Ｑ３　今日はどんな作業をしましたか？

啓開（瓦礫の撤去）が終了した道路脇の崩れそうな場所に土嚢を積む作業とこの道路に接続している道路の啓開を行いました。また、この作業とは別に２名が昨日と同じく給水（お風呂用）の支援をしました。

Ｑ４　今思うことや感じることは？

今日は防衛大臣が自衛隊の支援活動の視察に来られ、激励していただきました。また、今日の作業が終わった際には、瓦礫を撤去した道路沿いの家の持ち主の方々に「ありがとうございました。」の言葉をいただき、その場所を撤収するまで見送っていただきました。そのときは、胸にぐっとくるものがありました。

■機動施設隊　海士長　佐々木未来（岩手県出身）

Ｑ１　今日はどんな作業をしましたか？

啓開（瓦礫の撤去）が終了した道路の崩れそうな場所に土嚢を積む作業とこの道路に接続している道路の啓開（瓦礫の撤去等）を行いました。

Ｑ２　作業をしていて何か思ったことや感じたことはありますか？

今日の午後、わたしは道路の崩れそうな場所に土嚢を積む作業をしました。そこへ防衛大臣が視察に来られ、隊員に「どこから来たんですか？」「皆さん、頑張ってね。」と声を掛けられ、わたしも握手していただきました。疲れもありますが、自分のやっていることは住民のためになっていると感じ、あらためて頑張ろうと思いました。